

1 策定の趣旨

- 将来における脱炭素社会の構築を見据え、市民・事業者等と連携し、**地域経済の発展**や**市民生活の向上**と**地球温暖化対策**との**両立**を実現
- 地域経済の発展や市民生活の向上に係る一つの施策として、再生可能エネルギーを中心とした**エネルギーの地産地消**や**地域資源の循環**を推進
- 気候変動リスクに対応する**安全安心な街づくり**の推進

2 総合戦略の基本的事項

<戦略の位置付け>

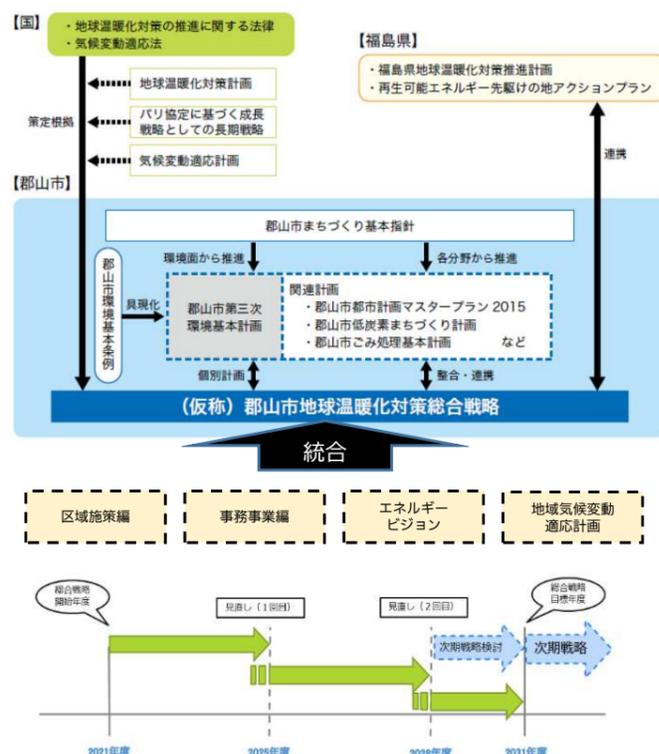
- ▶ 「郡山市第三次環境基本計画」の地球温暖化対策に関する具体的な個別計画
- ▶ 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づく地方公共団体実行計画
- ▶ 気候変動適応法第12条に基づく地域気候変動適応計画

<基準年度及び目標年度>

基準年度	2013年度
目標年度	(中期) 2030年度 (長期) 2050年度

<推進体制・進捗管理>

- ▶ 郡山市地球温暖化対策推進本部による庁内推進体制の一元化
- ▶ 郡山市環境審議会との連携
- ▶ PDCAサイクルによる進行管理
- ▶ 4年(市長任期)ごとの見直し

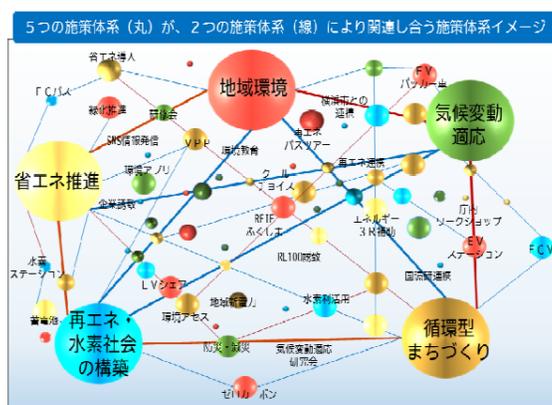


3 施策体系と施策のポイント

<施策体系>

リゾーム型施策体系

各施策体系の施策は、一つの施策から一方向に展開する「ツリー型」ではなく「**リゾーム型**」として有機的に関連し合い、相乗効果を発現することで効果的・効率的な将来像の実現を目指す。



<施策のポイント>

- 市民、事業者、行政の役割を明確化
- 施策、対策における効果を可視化
- バックキャスト思考を活用した施策、対策の展開
- リゾーム型施策体系によるマルチベネフィットの提示
- 新型コロナの影響による社会・経済の変化と非接触型等5レスを活用したDXの実現

4 将来像

Carbon Neutral City Koriyama

- パリ協定以降の国内外の動向、「脱炭素」、「SDGs未来都市」を踏え、郡山市の将来像として「**脱炭素社会の実現とSDGsの達成**」を強調。
- 地球温暖化対策と経済・社会の活性化の「**地域経済の牽引**」、気候変動影響に対応するレジリエントな「**ゆるぎない強靱な都市**」を掲げる。
- 世界規模で取り組むべき「**脱炭素社会の実現**」に向け、炭素実質ゼロの国際的な共通認識の単語である「**Carbon Neutral**」を用い表現。



5 温室効果ガス排出削減目標等

<将来像における目標>

2030年度(中期目標) : 2013年度比30%削減
2050年度(長期目標) : 2013年度比100%削減※
※実質ゼロ

※国の削減目標
26%削減
80%削減

<削減目標設定のイメージ>

柱ごとに施策・対策の成果目安の積み上げを設定する。

